

[平成19年3月2日 (金)]

美しい森林づくりニュース 〈NO. 3〉

～ いのちと環境を守るため ～

発信元：林野庁研究保全課 森林環境保全班 企画調整係 大竹

Tel : 03-3502-8111 (内線6349) 03-3501-3845 (直通) Fax : 03-3502-2887

昨日（3月1日）「安倍内閣メールマガジン」において、以下のとおり、「美しい森林づくり」に関する松岡農林水産大臣からのメッセージが配信されましたのでごお届けします。

安倍内閣メールマガジン (第19号 2007/03/01)

[ホワイエの誓い]

●みんなで支える「美しい森林（もり）づくり」

(農林水産大臣 松岡利勝)

こんにちは、農林水産大臣の松岡利勝です。今回は「美しい森林（もり）づくり」について話をさせていただきます。

日本は世界でも有数のみどり豊かな森林国で、国土の3分の2が森林におおわれています。また、日本の森林は新緑や紅葉など四季折々に私たちの目を楽しませてくれます。私も、熊本県の阿蘇でみどり豊かな雄大な自然を見て育ち、この自然の美しさこそ日本が世界に誇れるものと思っています。

また、森林は山が崩れるのを防ぎ、豊かな水をはぐくむなど私たちが安心して暮らしていくために大切な役割を果たしています。最近、二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防止するはたらきが期待を集めたり、森林セラピーと言ってストレスを和らげる森林の「癒し効果」も注目を浴びています。

森林が、このような役割を果たしていくためには、混んだ山から木を抜き伐る間伐（かんばつ）などきちんと手入れをすることが必要です。私も小さい頃、親の手伝いで、山の小払い（こばらい）とって

下草を刈る作業をしていました。

しかし、最近では、雨が降って山から土砂が流れ出したとか、強い風が吹いて山の木が倒れたといったニュースを耳にすることが多くなったと思います。これらは、少なからず、森林を守ってきた林業・山村の活力がおち、山の手入れが行き届かなくなったことで、森林がひ弱になっていることと関係しています。

一方、暗い話ばかりではありません。戦後、国土を緑にするため植えられた森林は木材として利用できる段階を迎えています。こうした木を積極的に使うことが、森林や林業を再生することになります。

「植える」「育てる」「上手に使う」というサイクルが、美しい森林をつくり、「美しい国、日本」につながっていくのです。

このような中、2月に安倍総理から指示をいただき、「美しい森林づくり推進国民運動」を政府一体となって展開していくことにしました。

地域の森林所有者の方はもちろん、都会に住む森林所有者の方も自分の山を見直していただく、山に関心がないという一般の方も森林ボランティアに参加していただいたり、木でできた製品を生活の中で利用していただくなど、皆さんの幅広い「美しい森林づくり」への参加が、森林再生の鍵となります。

森林もこれから新緑が美しい季節を迎えます。この機会に一度足を運んでみませんか。私達と一緒に「美しい森林づくり」に向け頑張りましょう。主役は皆さん一人一人です。

また、林野庁のホームページにおきましても、「美しい森林づくり」関連サイトを開設いたしましたので、お知らせします。

◆ 美しい森林づくり推進国民運動関連サイト

<http://www.rinya.maff.go.jp/utsukushiimoridukuri.html>

本情報につきましては、関係者の皆様にも御連絡いただければ幸いです。また、美しい森林づくりに関する情報は、随時「美しい森林づくりニュース」として、お届けしていきます。